

不用品なんでも買い取り業者

「エコリング」に出会い、断捨離達成！

ごみ・環境ビジョン 21 運営委員 佐藤道子

腰が上がりなかつた断捨離が…

古希を過ぎようという4、5年前から、私の周りでは「断捨離・終活・エンディングノート」などの言葉が飛びかうようになりましたが、私の家はそれどころではなく、活動している団体の資料は増えるばかり、服や装飾品なども山積みのまま。「整理しなければ！」「いつ始めよう…」「季節のいい時に片付けよう」などと思いながらずるずると時間が過ぎていました。

ところが今年の2月頃、テレビ番組の「カンブリア宮殿」を見ていたら、(株)エコリングという不用品買取の会社の社長が登場。この会社は家庭で眠っている不用品を買い取り、必要な人々がいる他国で売るなどしているそうです。へ～と思って観ていましたが、私はパソコンもスマホもやらないし、人にはその話をしましたが、あえてその先を調べようとはしませんでした。

ところが数か月後に、長く会員になっている生協のチラシの中に、エコリングのチラシが入っていたのです。「これ、テレビで見たやつだ！生協のチラシなら安心かな」と思い、さっそく申し込みました。

ダンボール箱のやりとりだけでOK

まずは荷物を入れるダンボール箱を注文します。大中小とあり、私は一番大きいダンボール（縦40cm、横54cm、高さ34cm）を試しにひとつ注文しました。

そしてこのひとつの段ボール箱をきっかけに、私の人生20才代から約50年間の整理がやっと始まりました。まずハンドバック類15点と装飾品類を入れて1回目を送りました。

2回目はスーツなどの洋服類を送り、調子が出てきたところで3回目はオーバーコートや毛皮類。続けて引出物の食器類なども送り、計5箱を送りました。

それぞれの箱の中には契約書、身分証明書の写しと振込の金融機関名と口座名義、連絡方法を書いて入れます。用意ができたなら電話をすれば、自宅に取りに来てくれるので楽でした。

なかなか腰が上がりなかつた断捨離でしたが、1枚のチラシをきっかけに決行できました。鏡台、整理ダンス、洋服ダンス、天袋の中がすっきりと片付いたのはもちろんのこと、若い頃に父からも

もらった思い出のサンゴのカフスボタンが出てきたり、全然指に入らない金の指輪に笑ったり、埋もれていた思い出深いものたちと再会することができました。

このひどく暑い夏に整理したことで、冬物を思い切って整理できたのもとてもよかったです。これが秋だと、コートもスーツもまだ着られるかしらと未練たらしく残してしまったかもしれません。

5箱送って、さて代金は…約1万円になりました！やったー、うれしい！

ちなみに送料は無料です。商品を査定した後、買い取り価格の連絡が来て、金額に納得がいかなければ送り返してくれます。それも無料です。



*いの*の追加情報

不用品買取業者「エコリング(Eco Ring)」は、若き創業者(桑田一成社長)が2001年に創業し、急成長した。桑田社長は「世界初の古物専門商社を目指している」と言う。佐藤さんが利用した宅配買取の他に、店舗買取、訪問買取もある。

「世の中には無駄なモノはない」と、中古品を売りたい一般客と買いたい業者の流通経路をつくったこと、社内に鑑定士を多数育成したことが成功の秘訣というが、創業者に不用品(ごみ)への問題意識がきちんとあつたことも成功の要因だと思う。